

# 令和三年度 後期日程 公共政策学部

## 小論文問題

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答用紙すべてに、受験番号・氏名を記入すること。
- 4 この冊子は、問題用紙（一四頁）・解答用紙（四枚）からなっている。
- 5 落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手を挙げて申し出ること。
- 6 解答は、解答用紙の指定された箇所に、縦書きで記入すること。
- 7 解答作成の際、句読点・カッコは、字数に含めること。
- 8 試験開始後六〇分を経過しないと、退室できない。また、試験終了前一〇分間は退室できない。退室するときは、手を挙げて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ねること。問題冊子は持ち帰ること。

令和三年度 後期日程 公共政策学部

「小論文問題」補足説明

「問二」の「図2」のデータは、  
2018年のものである。

一 次の論考は、戸坂潤が一九三七年四月に公刊した『世界の一環としての日本』（白揚社）に載せられたものである。これを読んであとの問いに答えなさい。

（※なお、本文中の「云」は「言」と、「聯」は「連」と同義である。）

（著作権の関係で不掲載）

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(出典) 林淑美編 『平凡社ライブラリー』八六

戸坂潤セレクション』平凡社、二〇一八年。

(注一) マグヌス・ヒルシュフェルト(一八六八―一九三五)：ドイツの内科医であり、性科学者。同性愛者やトランスジェンダーの権利の、最初の擁護者であるとされている。

(注二) 文献学 (Philologie)：…文献の原典批判・解釈・成立史・出典研究を行う学問。また、それに基づき民族や時代の文化を研究する学問。

問一 傍線部①は、どのような内容のことを意味しているのか、説明しなさい。(一二〇字以内)

[三〇点]

問二 傍線部②の意味を本文に即して説明しなさい。(二〇〇字以内)

[四〇点]

問三 傍線部③において、筆者はどのような主張を述べようとしているのか、分かりやすく説明しなさい。またこのような主張に対して、あなたはどのように考えるのか論じなさい。

(六〇〇字以内)

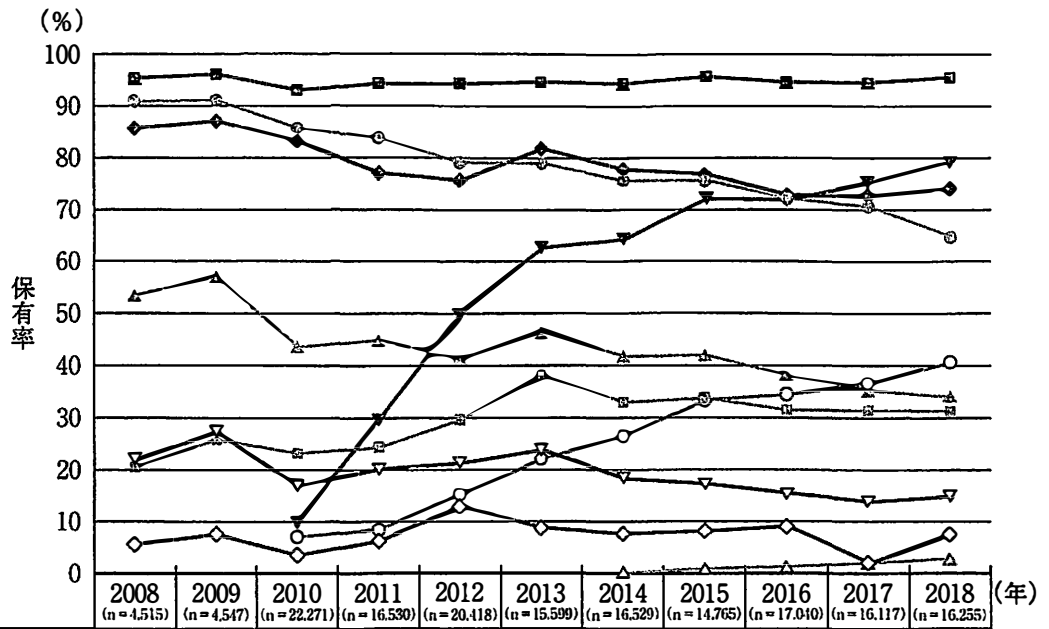
[八〇点]



二 次の図および図表から読み取れる、日本におけるインターネット利用の特徴と公共的利用の課題について述べなさい。(八〇〇字以内)

[一三〇点]

図表1 情報通信機器の世帯保有率の推移



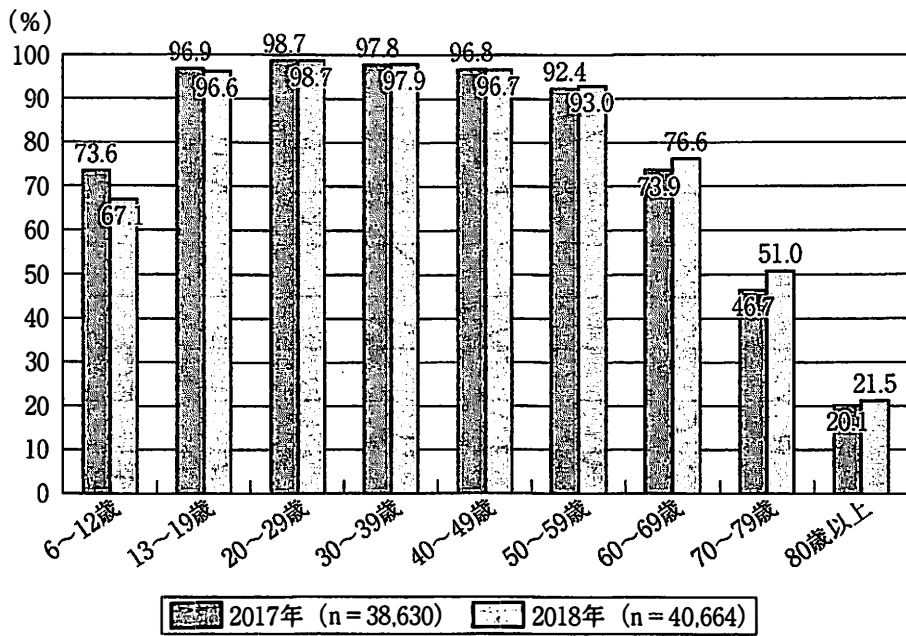
	2008 (n=4,515)	2009 (n=4,547)	2010 (n=22,271)	2011 (n=16,530)	2012 (n=20,418)	2013 (n=15,599)	2014 (n=16,529)	2015 (n=14,765)	2016 (n=17,040)	2017 (n=16,117)	2018 (n=16,255)	(年)
☎ 固定電話	90.9	91.2	85.8	83.8	79.3	79.1	75.7	75.6	72.2	70.6	64.5	
✉ FAX	53.5	57.1	43.8	45.0	41.5	46.4	41.8	42.0	38.1	35.3	34.0	
☎ モバイル端末全体	95.6	96.3	93.2	94.5	94.5	94.8	94.6	95.8	94.7	94.8	95.7	
☎ スマートフォン	-	-	9.7	29.3	49.5	62.6	64.2	72.0	71.8	75.1	79.2	
💻 パソコン	85.9	87.2	83.4	77.4	75.8	81.7	78.0	76.8	73.0	72.5	74.0	
📱 タブレット型端末	-	-	7.2	8.5	15.3	21.9	26.3	33.3	34.4	36.4	40.1	
🕶 ウェアラブル端末	-	-	-	-	-	-	0.5	0.9	1.1	1.9	2.5	
📺 インターネットに接続 できる家庭用テレビ ゲーム機	20.8	25.9	23.3	24.5	29.5	38.3	33.0	33.7	31.4	31.4	30.9	
🎧 インターネットに接続 できる携帯型音楽プレ イヤー	22.0	27.3	17.0	20.1	21.4	23.8	18.4	17.3	15.3	13.8	14.2	
📺 その他インターネット に接続できる家電(ス マート家電)等	5.5	7.6	3.5	6.2	12.7	8.8	7.6	8.1	9.0	2.1	6.9	

nは、世帯数。

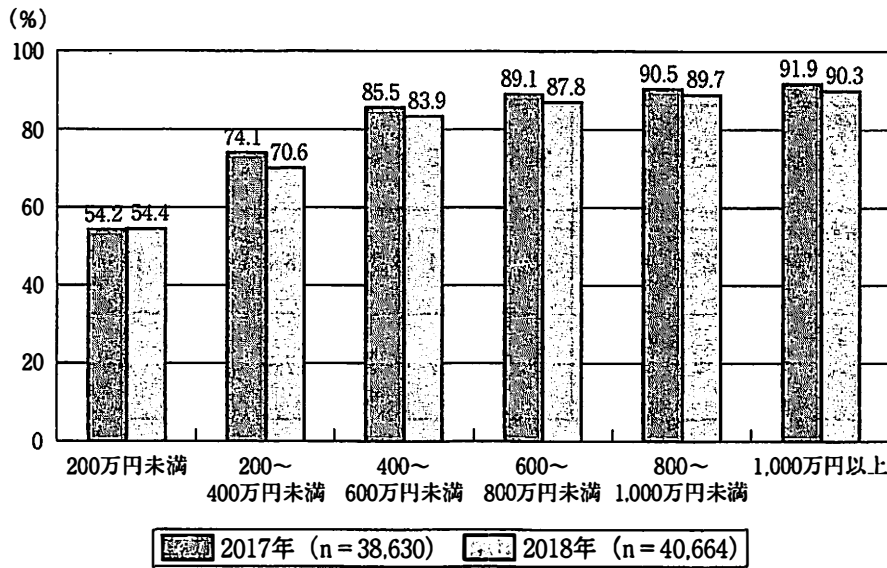
(出典) 総務省「通信利用動向調査」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

図1 属性別インターネット利用率  
年齢階層別



所属世帯年収別

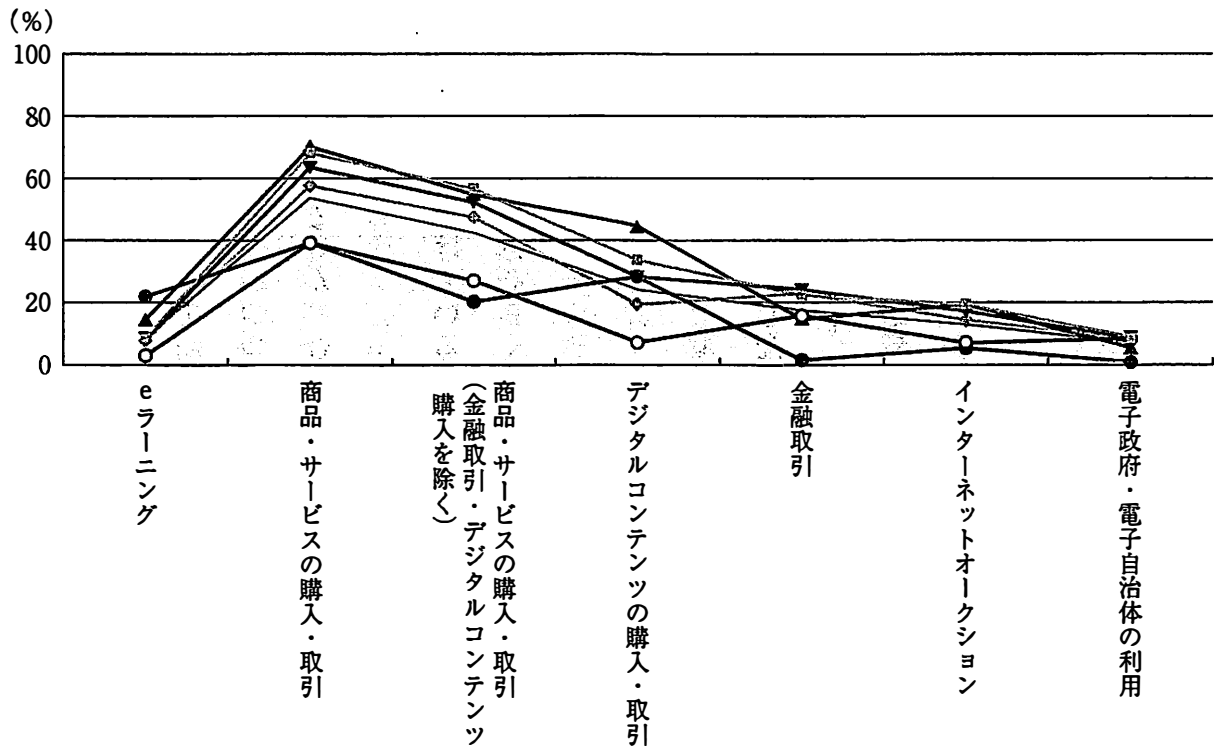
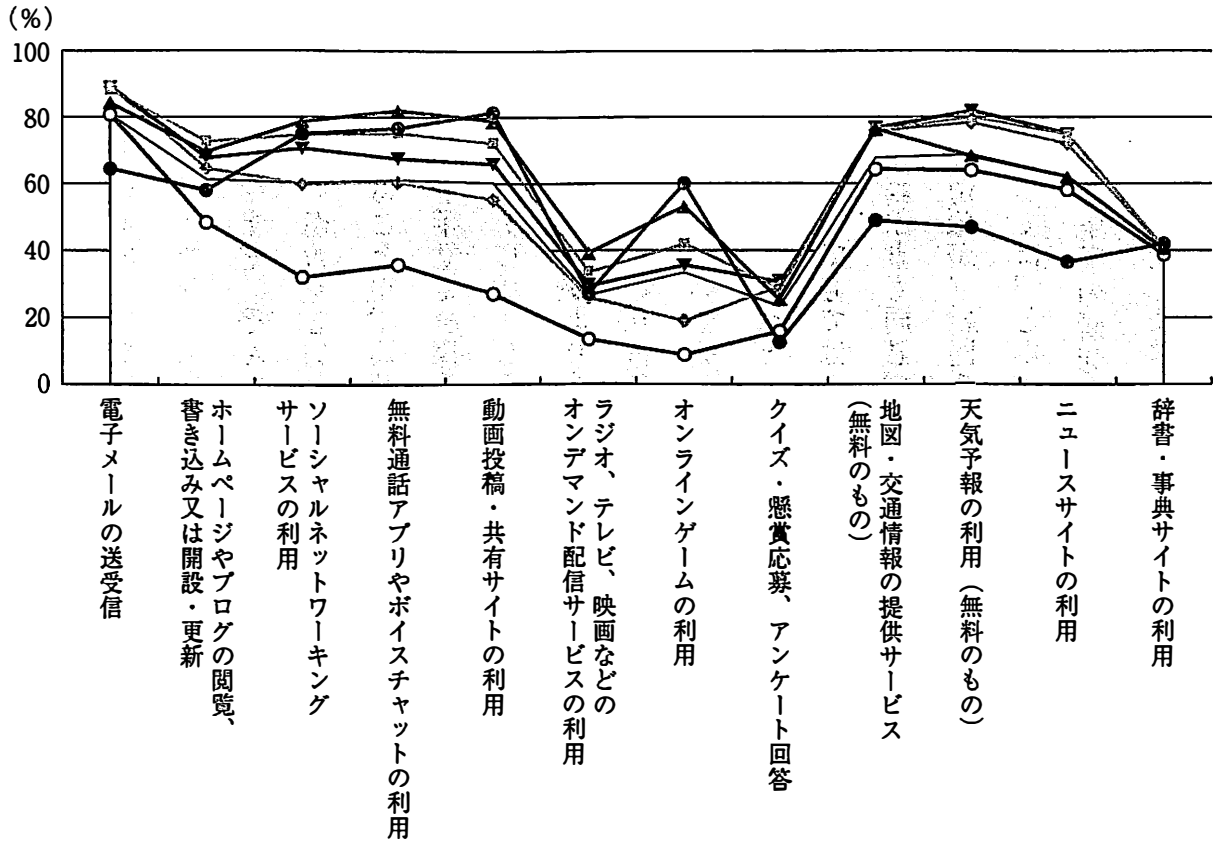


nは、人数。

(出典) 総務省「通信利用動向調査」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

図2 年齢階層別インターネット利用の目的・用途（複数回答）



□ 全体     
 ● 13~19歳 (n=2,294)     
 ▲ 20~29歳 (n=3,199)     
 ■ 30~39歳 (n=4,174)  
▼ 40~49歳 (n=5,089)     
 ◇ 50~59歳 (n=5,268)     
 ○ 60歳以上 (n=7,423)

nは、人数。

(出典) 総務省「通信利用動向調査」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(出典) 玄田有史『希望のつくり方』二〇一〇年、岩波新書。ただし、出題の都合上、原文を一部改変している。

問一 空欄Xに入る適切な言葉を入れなさい。(八字以内)

[二〇点]

問二 筆者の主張をふまえたうえで、「大丈夫」以外の希望が持てる言葉をあげ、あなたの考えを述べなさい。(五〇〇字以内)

[一〇〇点]